

## 第3章 「心のノート」の 効果的な活用を 促す計画例



「心のノート」中学生用『あなたらしさがあなたの個性』のイラストより

# 学校全体での活用を促す計画例

## 作成のポイント

### ●全教職員で内容を知る

「心のノート」の内容やその特色を知り、学校の中で生かすときの可能性をふくらませる。

### ●学校としての方針をもつ

学校としての「心のノート」の生かし方の方針や活用場面等について共通理解する。

### ●各計画に位置付ける

道徳の時間や各教科等の学習でどのように生かすかについて、活用場面や活用例などを計画に盛り込む。



## ●「心のノート」の活用を促すための計画を作成する手順の例

以下は、「心のノート」の活用を促す計画を立てるまでの一つの手順である。各学校の実態等により、それぞれの工夫を図ることが望まれる。

### 1 全教職員の共通理解を深める

#### 職員会議で

◆全教職員で「心のノート」の特徴や使い方について共通理解を図る

○職員会議で、校長や道徳教育推進教師が、「心のノート」活用のために」などを用いて「心のノート」の意義、特徴などについて話す。また、学校の様々な教育活動で「心のノート」を生かすことができる可能性を話し合い、イメージをふくらませる。

全教職員で、小学校1・2年用から中学校用までの4冊の「心のノート」を回覧

#### 職員会議で

◆学校としての「心のノート」の活用方針や活用場面等について共通理解を図る

○職員会議の中で、校長や道徳教育推進教師が、「心のノート」活用の方針を提案し、全教職員で共通理解を図る。

[例] 子どもが「心のノート」を進んで活用できるようにする

○子どもが、授業だけでなく、朝や帰りの話し合い、休み時間や放課後など学校生活の様々な場面で進んで活用できるように働き掛ける。

#### 学年会で

○学年会の中で、教育活動のどのような場面で「心のノート」を生かすことができるかについて話し合う。

#### 教科等部会で

○各教科等の部会において、各教育活動の特質に応じて「心のノート」をどのように生かすことができるかについて話し合う。

### 2 活用に向けた計画を立てる

◆道徳教育の全体計画等に活用の視点などを位置付ける

○「心のノート」を学校の中でどのように生かすかについて、道徳教育の全体計画などに位置付ける。  
(「心のノート」活用の計画だけを独立させて整理することも考えられる。)

◆各教育活動の年間計画等に「心のノート」の活用を盛り込む

○「心のノート」の活用の視点を示した道徳教育の全体計画をもとに、道徳の時間をはじめとして、各教科等や生徒指導などの年間指導計画に「心のノート」を生かすことのできる場면을盛り込む。

## 子どもが自らの活用を促すための共通理解を

### ●「心のノート」活用の全体構想を作成するときの留意点

各教育活動の特質を生かした教育活動を進める上で無理のない活用を検討する  
各教育活動における道徳性の育成は、各教育活動の特質を生かした指導をすることで成果が表れる。  
したがって、子どもの心を育てる上で効果的であると思われる場合に、柔軟な形で「心のノート」を生かすことができるように計画に位置付けることを大切にする。

### ●「心のノート」を生かす共通理解を図るための流れのイメージ

以上のことを流れ図の構想で示すと、例えば、およそ次のように捉えることができる。

学校の重点(例) 心豊かな子どもを育てるために

「心のノート」を自分のために進んで活用する子ども

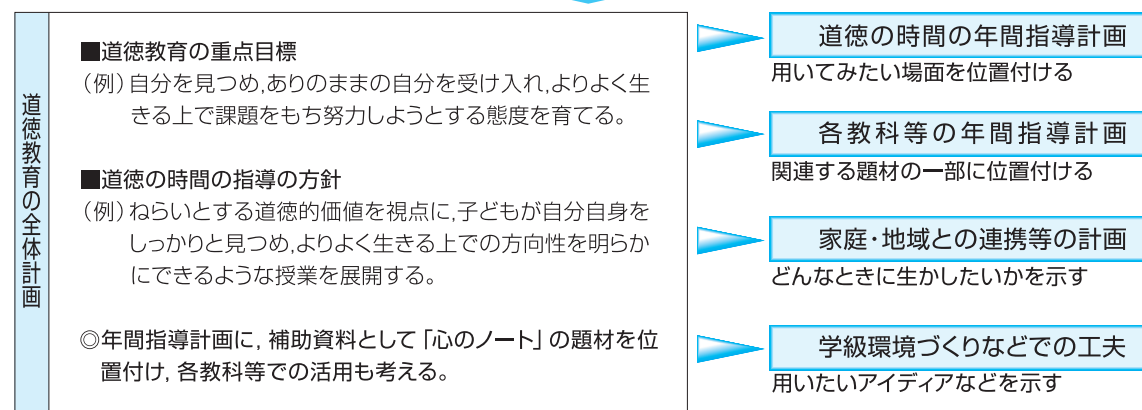
#### 「心のノート」を生かす視点例

- 子ども自ら意欲的に活用しようと思えるか。
- 子どもの「心の成長の記録」となるか。
- 学校と家庭と地域社会との「心の架け橋」となるか。

#### 子どもが「心のノート」を活用して生活や体験を振り返る場面

学校生活で	授業で	各教科 道徳の時間 外国語活動 総合的な学習の時間 特別活動
	授業以外で	朝や帰りの話し合い 休み時間 給食の時間 清掃時間 放課後 など
家庭生活で	家族の団らん 家庭における行事 など	
地域の生活で	地域における行事 日常的なふれあい など	

指導計画等への位置付け



# 道徳教育の全体計画例

## 作成のポイント

- 校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心に、全教師で明確に位置付ける  
学校として「心のノート」をどのように用いるかについて、一貫した基本方針を明示する。
- 道徳の時間や各教科等に位置付ける  
教育活動のそれぞれの場面における「心のノート」の生かし方の方針を示す。
- 環境の整備や家庭・地域社会との連携などを考えて位置付ける  
学校の環境づくりや、家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携を図る際の「心のノート」の生かし方を考える。

## 道徳教育の全体計画への「心のノート」活用の位置付け方の例

以下は、全体計画の作成において「心のノート」の学校としての生かし方を位置付けるときの着眼点や手順などである。学校や地域社会の実態や特色に応じて多様に工夫することが大切である。

### 1 全体計画に位置付ける手順の例

- 1 学校の教育目標、道徳教育及び各学年の重点目標を基に、「心のノート」を学校としてどのように用いるかを検討し、整理する。
- 2 全教育活動を通じて生かせる道徳教育用教材として整理し、道徳の時間での生かし方を、1時間を通じた活用なども工夫しながら、道徳の時間の指導の方針の中に位置付ける。
- 3 各教科、総合的な学習の時間、特別活動での生かし方や、特に生かすことが考えられる内容を考え、整理する。
- 4 道徳的な環境を整え、家庭や地域社会との共通理解を深め相互の連携を図るため、「心のノート」の学校としての生かし方について検討し、計画に位置付ける。

### 2 全体計画に位置付けるときの留意点

- (1) 校長の方針の下に、道徳教育推進教師を中心に、全教師の参加と協力を得ながら、計画への位置付けを進める。
- (2) 学校の特色や実態及び課題に即した「心のノート」の効果的な使い方や重点的な生かし方を可能にする方針などを考えるようにする。
- (3) 小学校、中学校それぞれの活用の仕方の連続性や違いに着眼し、相互に連携を図り、長期的な視点で柔軟に位置付けるようにする。
- (4) 計画については、全教師による一貫性のある道徳教育を推進するために、道徳教育推進教師を中心に常に子どもの活用の様子を基に評価し、改善していくことが大切である。

### 「心のノート」の活用を位置付けた計画の評価について

例えば、年間の活用の様子を通して、次の観点から全体計画における「心のノート」の活用の位置付けなどについて評価する。

- 校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心として全教師で、学校の教育活動全体を通じた効果的な活用が図られたか。
- 道徳の時間において、「心のノート」の計画的な活用が図られていたか。
- 各教科等において、道徳性を養う視点から効果的に活用することができたか。
- 特色ある教育活動、生徒指導や環境づくり及び豊かな体験活動に積極的に生かすことができたか。

学校の教育活動全体を通して「心のノート」を計画的に生かすために

## 「心のノート」の活用を位置付けた道徳教育全体計画例

### 道徳教育全体計画（例）

●以下は「心のノート」の生かし方を見やすく整理した計画の一部である。

